

今回、メンバーの2024年目標を考える時間に立ち会うことが出来ました。

年始の個別フォロー同席と同じような取り組みでありながら、自分の言葉への重みが増す取り組みもあったので、私も、通常のミーティングでは口に出さないこと(仕事に対して精力を注いでいると感じるほど、口を挟みづらいと思う傾向がある)まで言っていたと思う。

メンバーの職場の厳格さがどの程度なのか理解しきれていないので、職場を優先する気持ちや、考え過ぎなのか、本当に必要なのかを図りかねていた所もあったと思う。

陽子さんの話で「休みを取ったことで支障は...出ていた」は思わず笑ってしまったものの、本当の所そうだよねとも思う。

(ある程度準備しておくにしても)全く支障がなかったら、その人は居なくても良かったということだもの。

でもその笑いの空気感によって、聞いている側の思考が進んだ(無理→やってみようかな位)ようにも感じていたから、色々なアプローチを用いて話をする(伝え方のバリエーションを持つこと)の重要性を感じた。

途中、他のメンバーから「とは言え...と思うことはあるか」という質問があり、これはチームItoで踏み込みの次に目指している、踏み込み/押しつけだけでは上手く行かない事例の突破口の話だなと感じた。

陽子さんからはメンバーの課題について「自分に対する雑な取扱い」と端的に、だけどの的確に指摘があって、そこから一気に話が進んだように思う。

私はまだ課題を、伝わる言葉で言語化して伝える段階には行っていないと思うので、今後も互いを向上し合う仲間としてやっていくうえで、踏み込みの次の段階のカードを沢山準備していきたいと思いました。

今回は個別フォローに参加しているかのような深い部分も突っ込み合った時間を過ごしたと感じています。貴重な時間をありがとうございました。

(A.S 40代女性 北海道)